

新学習指導要領に見る新聞活用ポイント

監修：関口修司（日本新聞協会 NIE コーディネーター）

小学校

社会

第3学年の内容

(2) 地域に見られる生産や販売の仕事について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解すること。

(イ) 販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解すること。

(ウ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現すること。

(イ) 消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現すること。

解説→（略）自分たちの住む地域には様々な生産に関する仕事があること、産地は市内に分布していること、生産するには一定の順序や工程があること、地域で生産された物は地域の人々の生活に使われていることなどを基に、生産の仕事の様子について理解する（略）。販売の仕事は消費者の需要を踏まえて売り上げを高めるよう工夫していること、商店では商品の品質や並べ方、値段の付け方などを工夫して販売していること、販売の仕事は商品や人を通して国内の他地域や外国とも関わりがあることなどを基に、販売の仕事の様子について理解する（略）。

内容の取扱い

(2) 内容の(2)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア アの(ア)及びイの(ア)については、事例として農家、工場などの中から選択して取り上げるようにすること。

イ アの(イ)及びイの(イ)については、商店を取り上げ、「他地域や外国との関わり」を扱う際には、地図帳などを使用して都道府県や国の名称と位置などを調べるようにすること。

解説→ (略) 生産の仕事について、事例として取り上げる際には、例えば、地域の実態に応じた学習が展開できるか、市の人々の仕事の特色を具体的に捉えることができるかなどに留意し、農家の仕事、工場の仕事、木を育てる仕事、魚や貝などを採ったり育てたりする仕事などの中から選択して取り上げることが考えられる。

(略) 販売の仕事については、身近な地域にある、例えば、小売店、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、デパート、移動販売などの中から選択して、商店を取り上げることとし、その際、国内の「他地域や外国との関わり」について指導することを示している。(略) 自分たちの消費生活を支えている販売の仕事は国内の他地域や外国と結び付いていることに気付くように指導する必要がある。(略)

→ 農工業など地域の主要産業に関する新しい情報の入った記事などを授業の導入で示すことで、児童の関心を高め、意欲的に授業に取り組ませるきっかけとなる。販売の仕事に関連しては、例えばコンビニチェーンの新たな取り組みなどは、全国的なニュースになることが多い。一方、地方紙や全国紙の地域版には、地域の小売店やスーパーマーケット、デパート等を取り上げた記事なども掲載される。これらを資料として活用し、コンビニとスーパー、コンビニと商店の販売や仕事の工夫の違い・課題などを比較することもできる。このほか、生産や販売に従事している人物を取り上げた人物紹介記事などを活用して、仕事に取り組む人の思い・願いや工夫に気付かせることもできる。

(3) 地域の安全を守る働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 消防署や警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを理解すること。

(イ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現すること。

解説→ (略) 火災については、消防署を中心に (略) 火災の予防に努めていることや、地域の人々が (略) 協力していることなどを基にして、地域の安全を守る働きについて理解する (略)。事故や事件については、警察署が中心となって、(略) 交通安全運動や防犯活動を展開していることや、(略) 地域の人々が事故防止や防犯に協力していることなどを基に、地域の安全を守る働きについて理解する (略)。

内容の取扱い

(3) 内容の(3)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア アの(ア)の「緊急時に対処する体制をとっていること」と「防止に努めていること」については、火災と事故はいずれも取り上げること。その際、どちらかに重点を置くなど効果的な指導を工夫すること。

イ イの(ア)については、社会生活を営む上で大切な法やきまりについて扱うとともに、地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりできるように配慮すること。

解説→(略)ここでは、学習したことを基に、地域の人々が行っている火災予防、交通安全や防犯などに関わる活動の中から、地域社会の一員として自分たちにも協力できることを考えたり、自分自身の安全を守るために日頃から心掛けるべきことを選択・判断したりして、それらを基に話し合うことなどが大切である。(略)

→ 社会生活の安全を守るための消防、警察など関係機関の取り組みは、新聞に多数掲載されている。大きな事件・事故が発生すれば、その再発防止策（信号機やガードレール等の設備の設置など）もニュースとして取り上げられることも多い。毎年春秋に実施される全国火災予防運動、全国交通安全運動の時期なども、訓練や啓発活動などに取り組む自治体や地域が多いため、関連報道が増える時期だ。これらの機会を捉えて記事を切り抜いておくと、関係機関や地域でさまざまな取り組みがされていることを、児童に分かりやすく伝えることができる。地域の防災訓練や防犯活動の記事なども、自分たちにできることを具体的に考えさせる上で有効だ。また、配慮は必要になるが、身近な地域での火災や事故の記事を活用することで、児童に学習内容を自分事として考えさせることもできる。事故統計の記事など、図表やグラフとともに掲載される記事は、多様なテキストを読み解く力を養うこともできる。教科横断的に育む観点から、社会科でも積極的に取り上げたい。最新の統計記事は、教科書に掲載されている資料を更新する情報として有効である。

第4学年の内容

(2) 人々の健康や生活環境を支える事業について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 飲料水、電気、ガスを供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解すること。

(イ) 廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められ

ていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解すること。

(ウ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 供給の仕組みや経路，県内外の人々の協力などに着目して，飲料水，電気，ガスの供給のための事業の様子を捉え，それらの事業が果たす役割を考え，表現すること。

(イ) 処理の仕組みや再利用，県内外の人々の協力などに着目して，廃棄物の処理のための事業の様子を捉え，その事業が果たす役割を考え，表現すること。

解説→(略)飲料水，電気，ガスを供給する事業(略)，廃棄物を処理する事業について理解する。(略)飲料水，電気，ガスの供給のための事業の様子について，例えば，どのような仕組みで作られているか，どのような経路を通過して送られて来るか，どのような関係機関や人々の協力の基に成り立っているかなどの問いを設けて調べたり，それらの事業と人々の生活を関連付けて考えたりして，調べたことや考えたことを表現する(略)。廃棄物の処理のための事業の様子について，例えば，廃棄物をどのように集め処理しているか，再利用にはどのような方法があるか，どのような関係機関や人々の協力の基に成り立っているかなどの問いを設けて調べたり，その事業と人々の健康や生活環境を関連付けて考えたりして，調べたことや考えたことを表現する

内容の取扱い

(1) 内容の(2)については，次のとおり取り扱うものとする。

ア アの(ア)及び(イ)については，現在に至るまでに仕組みが計画的に改善され公衆衛生が向上してきたことに触れること。

イ アの(ア)及びイの(ア)については，飲料水，電気，ガスの中から選択して取り上げること。

ウ アの(イ)及びイの(イ)については，ごみ，下水のいずれかを選択して取り上げること。

エ イの(ア)については，節水や節電など自分たちにできることを考えたり選択・判断したりできるよう配慮すること。

オ イの(イ)については，社会生活を営む上で大切な法やきまりについて扱うとともに，ごみの減量や水を汚さない工夫など，自分たちにできることを考えたり選択・判断したりできるよう配慮すること。

解説→(略)水，電気，ガスを大切な資源として捉え，節水や節電，省エネなどに向けて，自分たちが協力できることなどを考えたり選択・判断したりするなど，資源の有効利用に関心を高めるよう配慮することが大切である。その際，市などが行っている節水や節電の呼びかけ，家庭や学校，事業所などでの節水や節電の取組，

太陽エネルギー利用の取組などを取り上げ、飲料水や電気、ガスなどの使い方を
見直し有効に利用することが大切であることに気付くようにすることが大切であ
る。(略)ごみを減らしたり水を汚したりしないために自分たちが協力できること
を考えたり選択・判断したりして、人々の生活環境の保全に関心を高めるよう配
慮することが大切である。その際、地域におけるごみの減量や資源としての再利
用、水を汚さない取組などを取り上げるなどして、自らも廃棄物の適切な処理や
再利用に協力しようとする態度を養うように配慮することが大切である。

→ 水や電気、ガスなど、ライフラインに関する記事も新聞にはよく掲載される。例えば
水であれば、夏になると猛暑や少雨による渇水、取水制限の記事などを目にする。水の
かれたダムなど、目を引く写真と併せて掲載されることも多いので、関心を高めること
ができる。また、水不足とは縁のない地域であっても、記事を活用することで節水に対
する児童の意識を高めるきっかけとすることもできる。ライフラインに関連しては、水
道管の老朽化、再生可能エネルギーの導入など、現代的な諸課題もよく取り上げられる。
学習内容と現代社会をつなげる視点を持って、活用できる記事を探したい。廃棄物処理
も現代的な課題であり、新聞に頻出するテーマだ。プラスチックごみ、海洋ごみ、災害
ごみといった地球規模の問題から、リユースやリサイクル、ごみの分別といった身近な
問題まで、多面的・多角的な視点で取り上げられている。タイムリーな記事で児童の興
味関心を高めたい。

(3) 自然災害から人々を守る活動について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、
次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたこと
や、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解すること。

(イ) 聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々
を守る活動を捉え、その働きを考え、表現すること。

解説→ (略) 県内で過去に自然災害が発生していること、発生した際には県や市、警察
署や消防署、消防団などの関係機関や地域の人々が協力して、自然災害から人々
の安全を守るために対処してきたことなどを基に、自然災害から人々を守る活動
について理解する(略)。関係機関と地域の人々は、過去の自然災害の発生状況な
どを踏まえ、気象情報を収集したり災害の前兆現象を察知したりして、起こり得
る自然災害による被害を防いだり減らしたりするための備えをしていることなど

を基に、自然災害から人々を守る活動について理解する（略）。

内容の取扱い

(2) 内容の(3)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア アの(ア)については、地震災害、津波災害、風水害、火山災害、雪害などの中から、過去に県内で発生したものを選択して取り上げる。

イ アの(イ)及びイの(ア)の「関係機関」については、県庁や市役所の働きなどを中心に取り上げ、防災情報の発信、避難体制の確保などの働き、自衛隊など国の機関との関わりを取り上げる。

ウ イの(ア)については、地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをすること、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりできるように配慮すること。

解説→(略)県内において過去に発生した自然災害を取り上げて、地域の関係機関や人々の協力活動などを中心に調べるようにすることが大切である。(略)県内で様々な自然災害が度々起きていることや、自然災害は気象や地象の状況と深い関係があることなどを踏まえて、日ごろから気象庁などからの情報や防災情報、地域の地理的環境などに関心をもち、災害が起きたときに自分自身の安全を守るための行動の仕方を考えたり、自分たちにできる自然災害への備えを選択・判断したりすることができるように指導することが大切である。

→ 地域住民のいのちを守ることは新聞の使命の一つであり、各社とも防災・減災に向けた報道に力を入れている。国や県、市など行政機関による取り組みをはじめ、地域での取り組み、自分でできる防災対策など、さまざまな内容の記事が掲載されているので、参考にしたい。また、地震や豪雨など大災害に関する記事は、発生直後だけでなく、1か月、半年、1年、3年、10年などの節目で取り上げられることが多い。それぞれの時点での復興に向けた課題、被災者の現状や思いなども掲載されるので、防災・減災に向けた意識を高める上でも活用したい。身近な地域のハザードマップの作成や被害想定を伝える記事などは、学習内容を自分事として捉えさせるのに適した材料だ。日頃から切り抜いておくと、有効な資料となる。

(4) 県内の伝統や文化、先人の働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解すること。

(イ) 地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解すること。

(ウ) 見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、人々の願いや努力を考え、表現すること。

(イ) 当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを考え、表現すること。

解説→ (略) 自分たちの住む県内の様々な場所で文化財や年中行事が受け継がれていること、それらは地域の歴史を伝えるものであることなどを基に、県内の伝統や文化について理解する(略)。文化財や年中行事にはそれらの保存や継承に取り組んでいる地域の人々の努力が見られることや、地域の生産活動やまちの発展、人々のまとまりなどへの願いが込められていることを基に、県内の伝統や文化について理解する(略)。開発、教育、医療、文化、産業などにおいて地域の発展に尽くした先人について、それらの先人は様々な苦心や努力を重ねて業績を成し遂げたことや、その苦心や努力が当時の人々の生活の向上や地域の発展に大きく貢献したことなどを基に、先人の働きについて理解する(略)

内容の取扱い

(3) 内容の(4)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア アの(ア)については、県内の主な文化財や年中行事が大まかに分かるようにするとともに、イの(ア)については、それらの中から具体的事例を取り上げること。

イ アの(イ)及びイの(イ)については、開発、教育、医療、文化、産業などの地域の発展に尽くした先人の中から選択して取り上げること。

ウ イの(ア)については、地域の伝統や文化の保存や継承に関わって、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりできるよう配慮すること。

解説→ (略) 県内の主な文化財や年中行事については、例えば、県内を代表するような歴史を伝える建造物や遺跡、民俗芸能などの文化財、地域の人々が楽しみにしている祭りなどの年中行事などが考えられる。文化財については、文化財保護法という文化財はもとより、日本遺産や世界遺産といった地域の歴史的な特色やその魅力を知るための地域の遺産の中に見られる文化財なども考えられる。(略)「地域の発展に尽くした先人」(略)は、例えば、用水路の開削や堤防の改修、砂防ダムの建設、農地の開拓などを行って地域を興した人、藩校や私塾などを設けて地域の教育を発展させた人、新しい医療技術等を開発したり病院を設立したりして医学の進歩に貢献した人、新聞社を興すなど文化を広めた人、地域の農業・漁業・工業などの産業の発展に尽くした人など、「開発、教育、医療、文化、産業など」の面で地域の発展や技術の開発に尽くした先人の具体的事例の中から一つを選択

して取り上げることが考えられる。

→ 県内の主な文化財や年中行事に関しては、取り上げられやすい時期を中心に紙面をチェックしたい。例えば、大きな民俗芸能や祭りであれば、準備が本格化する時期や祭事の前後などで紙面化されることが多い。祭事そのものだけでなく、保存や継承に取り組んでいる地域の人々、伝統芸能の担い手らが、社会面や人物紹介欄などで取り上げられることもあるので、受け継いでいる人々の願いや工夫、努力を学ぶための資料として活用したい。地域の発展に尽くした先人についても、新聞では「没後100年」など節目の時期に取り上げられることが多い。日頃から切り抜いておくと、授業で取り上げる際に役立つ。学校に新聞記事データベースがあれば検索も容易なので、ぜひ試してほしい。公立図書館等にそろえられている新聞縮刷版も活用できる。また、先人の具体例の一つに「新聞社を興すなど文化を広めた人」が挙げられている。取り上げる場合は当該新聞社のNIE担当者に相談してみてもよいだろう。

(5) 県内の特色ある地域の様子について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 県内の特色ある地域では、人々が協力し、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解すること。

(イ) 地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現すること。

解説→ (略) 県内には、地場産業が盛んな地域や国際交流に取り組んでいる地域、自然環境や伝統的な文化を保護・活用している地域など特色ある地域があること、それらの地域では、特色あるまちづくりを進めたり、県や市、地域住民など様々な組織や機関、人々の協力により、観光などの産業を発展させたりしていることなどを基に、県内の特色ある地域の様子について理解する(略)。県内の特色ある地域の様子について、(略)地図帳を用いたりコンピュータなどを使ったりして必要な情報を集める技能、地図や写真などの資料を見比べながら、地域ごとの情報を読み取る技能、調べたことを白地図などにまとめる技能などを身に付けるようにすることが大切である。(略)

内容の取扱い

(4) 内容の(5)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア 県内の特色ある地域が大まかに分かるようにするとともに、伝統的な技術を生かし

た地場産業が盛んな地域，国際交流に取り組んでいる地域及び地域の資源を保護・活用している地域を取り上げること。その際，地域の資源を保護・活用している地域については，自然環境，伝統的な文化のいずれかを選択して取り上げること。

イ 国際交流に取り組んでいる地域を取り上げる際には，我が国や外国には国旗があることを理解し，それを尊重する態度を養うよう配慮すること。

解説→(略) 選択する県内の地域として，「伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域，国際交流に取り組んでいる地域，及び地域の資源を保護・活用している地域」の中から三つ程度を特色ある地域として取り上げる。その際，地域の資源を保護・活用している地域としては，自然環境あるいは伝統的な文化を保護・活用している地域が考えられ，そのいずれかを選択して取り上げる。(略)

→ 県内の風物詩や自然環境を取り上げた記事、写真は、新聞に年間通して掲載されている。地場産業や特色ある企業、国際交流の取り組みなどに関する記事も多く、活用できる資料を容易に見つけることができる。授業の導入で提示することで、取り上げる地域への興味関心を喚起することができる。あらかじめ学習内容を伝えておき新聞スクラップを促しておけば、児童自身が記事や写真を見つけることも容易なので、情報を収集するための手段としても活用させたい。

第5学年の内容

(2) 我が国の農業や水産業における食料生産について，学習の問題を追究・解決する活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 我が国の食料生産は，自然条件を生かして営まれていることや，国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解すること。

(イ) 食料生産に関わる人々は，生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして，良質な食料を消費地に届けるなど，食料生産を支えていることを理解すること。

(ウ) 地図帳や地球儀，各種の資料で調べ，まとめること。

イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

(ア) 生産物の種類や分布，生産量の変化，輸入など外国との関わりなどに着目して，食料生産の概要を捉え，食料生産が国民生活に果たす役割を考え，表現すること。

(イ) 生産の工程，人々の協力関係，技術の向上，輸送，価格や費用などに着目して，食料生産に関わる人々の工夫や努力を捉え，その働きを考え，表現すること。

解説→(略) 我が国の食料生産の概要(略)，我が国の食料生産の役割について理解する(略)。農業や水産業の盛んな地域の人々が，(略)様々な工夫や努力を行って

ること、生産し輸送、販売する工程で費用が発生すること、輸送方法や販売方法を工夫することにより収益を上げていることなどを基に、食料生産に関わる人々の工夫や努力について理解する(略)。食料生産に関わる人々の工夫や努力について、(略)問いを設けて調べたり、食料生産に関わる人々の工夫や努力とその土地の自然条件や需要を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現する(略)。価格や費用に着目するとは、生産や輸送、販売の過程で掛かる費用や販売される際の価格について調べることである。ここでは、野菜や魚など生鮮食品の価格は、主として市場で決められ、時期や場所によって変わることを、市場の情報を基に出荷する場所、量、種類、時期を判断していること、産地のブランド化やいわゆる「6次産業化」など新しい取組をしていることなどを調べることも考えられる。(略)

内容の取扱い

(2) 内容の(2)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア アの(イ)及びイの(イ)については、食料生産の盛んな地域の具体的事例を通して調べることとし、稲作のほか、野菜、果物、畜産物、水産物などの中から一つを取り上げること。

イ イの(ア)及びイの(イ)については、消費者や生産者の立場などから多角的に考えて、これからの農業などの発展について、自分の考えをまとめることができるよう配慮すること。

解説→ (略) 学習したことを基に、生産性や品質を高める工夫を消費者や生産者の立場に立って多角的に考え、これからの農業や水産業における食料生産の発展に向けて自分の考えをまとめることができるよう指導することが大切である。(略) さらに、生産・加工・販売を関連付けた、いわゆる「6次産業化」の動きなど新しい取組を取り上げることが考えられる。また、消費者の立場からは、安全性の確保や環境への負荷の軽減などの意識が高まっていること、低価格のものだけでなく、高品質のものや希少性のあるものを求める傾向も見られることなどを取り上げることが考えられる。このようにして、今後の農業や水産業の発展について考えようとする態度を養うようにする。

→ 授業で活用できる農業や水産業に関する記事も多い。例えば、価格や費用について調べる場合は、天候不順や不漁などの理由で野菜や魚の価格が高騰していることを伝えるニュースなどが活用できる。レタスやじゃがいも、うなぎ、さんまなど、児童に身近な野菜や魚のニュースであれば、児童の興味関心もわきやすい。また、それらの産業が日本国内にとどまらず諸外国との関係の影響を多く受けていることに気付かせる記事の活用も効果的である。新聞には、産地のブランド化や、いわゆる「6次産業化」などといった新しい取り組みもよく取り上げられる。児童が今後の農業や水産業を考える上で、

新聞記事などを通して最新の動向や今日的な課題に触れることも重要だ。

(3) 我が国の工業生産について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 我が国では様々な工業生産が行われていることや、国土には工業の盛んな地域が広がっていること及び工業製品は国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解すること。

(イ) 工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解すること。

(ウ) 貿易や運輸は、原材料の確保や製品の販売などにおいて、工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解すること。

(エ) 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、工業生産の概要を捉え、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。

(イ) 製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現すること。

(ウ) 交通網の広がり、外国との関わりなどに着目して、貿易や運輸の様子を捉え、それらの役割を考え、表現すること。

解説→(略)我が国の工業生産の概要(略)、我が国の工業生産の役割について理解する(略)。工業生産に関わる人々の工夫や努力について理解する(略)。貿易や運輸の役割について理解する(略)。工業製品はどのように改良されてきたかなどの問いを設けて調べたり、工業製品と国民生活を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現する(略)。工業製品の改良に着目するとは、身の回りの工業製品の改良の経過について調べることである。その際、機械工業では、自動車、テレビ、炊飯器、掃除機、電話機など身近な生活で使う工業製品を取り上げることが考えられる。(略)優れた技術に着目するとは、産業用ロボットなどを活用したオートメーションなど大規模工場の生産システム、消費者の需要や社会の要請に応える生産の仕方、中小工場での技術を生かした生産の様子、新しい分野に挑戦する研究開発などについて調べることである。(略)原材料や工業製品はどのような輸送手段で運ばれるか、我が国の工業は外国とどのような関わりがあるかなどの問いを設けて調べたり、貿易や運輸と工業生産を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現する(略)。

内容の取扱い

(3) 内容の(3)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア アの(イ)及びイの(イ)については、工業の盛んな地域の具体的事例を通して調べることとし、金属工業、機械工業、化学工業、食料品工業などの中から一つを取り上げること。

イ イの(ア)及びイの(イ)については、消費者や生産者の立場などから多角的に考えて、これからの工業の発展について、自分の考えをまとめることができるよう配慮すること。

解説→(略) 消費者や生産者の立場、人々の安全、環境、価格、利便性、バリアフリーなどに対する願いが工業生産により実現されることや、優れた技術やその向上が我が国の工業をより発展させること、工業生産を通じた我が国と外国との関わり方など、我が国の工業の発展について自分の考えをまとめることが大切である。その際、新しい技術やそれを生かした工業製品を研究開発し、それらを輸出したりしていることや、高齢化社会への対応や環境への負荷を少なくするために工業製品の開発に努力していることなどを取り上げ、今後の工業の発展について考えようとする態度を養うことなども考えられる。

→ 工業生産に関しては、取り上げる産業に関連した新聞記事や新聞広告を活用することができる。工業製品を取り上げた記事や広告には、生産者の思いや願いを取り上げているものが少なくない。興味関心を持たせるだけでなく、工業生産が国民生活に果たす役割を考える上で有効だ。新製品やヒット商品を取り上げた記事などを基に、生産者が消費者の需要や社会の要請に応えるためにどのような工夫をしているかを考えさせることもできる。また、新しい技術やそれを生かした工業製品の研究開発などは、ニュースとして新聞に取り上げられやすい。生産者や研究者が経済面や人物紹介欄に登場することも多い。直接、生産者らから話を聞くことができない場合など、積極的に活用したい。工業製品は国内生産・消費にとどまらず、国際的な貿易や運輸に関しても活用できる記事が多いので、日頃から意識してスクラップしておきたい。

(4) 我が国の産業と情報との関わりについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。(略)

→ 情報産業に関連しては、さまざまなN I E実践が行われていることから、ここでは記載を割愛する。各地のN I E実践報告書、N I Eサイトの実践データベース等を参照し、実践に取り組んでほしい。

※ N I Eサイト「新聞を活用した教育実践データベース」 <https://nie.jp/report/>

(5) 我が国の国土の自然環境と国民生活との関連について、学習の問題を追究・解決す

る活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 自然災害は国土の自然条件などに関連して発生していることや、自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解すること。

(イ) 森林は、その育成や保護に従事している人々の様々な工夫と努力により国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解すること。

(ウ) 関係機関や地域の人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られてきたことを理解するとともに、公害から国土の環境や国民の健康な生活を守ることの大切さを理解すること。

(エ) 地図帳や各種の資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 災害の種類や発生の位置や時期、防災対策などに着目して、国土の自然災害の状況を捉え、自然条件との関連を考え、表現すること。

(イ) 森林資源の分布や働きなどに着目して、国土の環境を捉え、森林資源が果たす役割を考え、表現すること。

(ウ) 公害の発生時期や経過、人々の協力や努力などに着目して、公害防止の取組を捉え、その働きを考え、表現すること。

解説→(略)我が国では、国土の地形や気候などとの関係から地震災害、津波災害、風水害、火山災害、雪害などの様々な自然災害が起りやすいこと、自然災害はこれまで度々発生しこれからも発生する可能性があることなどを基に、国土の自然災害の状況について理解する(略)。国や県などは、砂防ダムや堤防、防潮堤の建設、津波避難場所の整備、ハザードマップの作成など、自然災害の種類や国土の地形や気候に応じた対策や事業を進めていることなどを基に、国土の自然災害への対策や事業について理解する(略)。我が国で発生した主な自然災害の種類や被害の状況(略)位置や発生した時期について調べる(略)。防災・減災に向けた対策や事業について調べることである。(略)自然災害が発生しやすい我が国においては、日頃から防災に関する情報に関心をもつなど、国民一人一人の防災意識を高めることが大切であることに気付くように配慮することが大切である。(略)

内容の取扱い

(5) 内容の(5)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア アの(ア)については、地震災害、津波災害、風水害、火山災害、雪害などを取り上げること。

イ アの(ウ)及びイの(ウ)については、大気の汚染、水質の汚濁などの中から具体的事例を

選択して取り上げること。

ウ イの(イ)及び(ウ)については、国土の環境保全について、自分たちにできることなどを考えたり選択・判断したりできるよう配慮すること。

解説→ (略) 自然災害については、我が国で過去に発生した地震災害、津波災害、風水害、火山災害、雪害などの自然災害を国土の自然条件と関連付けて取り上げることが考えられる。なお、風水害とは、豪雨、洪水、高潮、崖崩れや土石流などによる土砂災害、突風や竜巻などによる災害を指している。ここでは、第4学年の内容の(3)「自然災害から人々を守る活動」とのねらいの違いに留意する必要がある。第4学年では、県内などで発生した自然災害を取り上げ、地域の関係機関や人々による自然災害への対処や備えを通して地域社会について理解することに、第5学年では、国土において発生する様々な自然災害を取り上げて、自然災害と国土の自然条件との関連を通して国土の地理的環境を理解することに、それぞれねらいがあることに留意することが大切である。また、気象条件など、理科における学習内容との関連を図った指導を工夫することも大切である。(略)

→ 第4学年の内容の(3)「自然災害から人々を守る活動」でも記述したとおり、新聞各社は防災・減災に向けた報道に力を入れている。県内の自然災害にとどまらず、全国各地の災害が新聞には取り上げられる。また、自然災害から人々を守る活動に携わっている人々や、被災した人々の声を掲載した記事を活用したい。災害と日本の地形や気候との関連を指摘する検証記事などが活用できるだろう。前述のとおり、発生直後だけでなく、1か月、半年、1年など節目のタイミングで記事化されることも多いので、意識したい。森林や公害に関連する記事も頻繁ではないが登場するので切り抜いておきたい。

第6学年の内容

(1) 我が国の政治の働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 日本国憲法は国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていることや、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解するとともに、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(イ) 日本国憲法の基本的な考え方に着目して、我が国の民主政治を捉え、日本国憲法が国民生活に果たす役割や、国会、内閣、裁判所と国民との関わりを考え、表現すること。

解説→ (略) 日本国憲法の特色 (略), 日本国憲法と国民生活との関連 (略), 我が国の政治の仕組みについて理解する (略)。我が国の民主政治について, 例えば, 日本国憲法の基本的な考え方はどのようなものか, 国会, 内閣, 裁判所はそれぞれどのような役割を果たしているか, 国会, 内閣, 裁判所はどのように関連しているかなどの問いを設けて調べたり, 日本国憲法と国民生活, 国会, 内閣, 裁判所と国民をそれぞれ関連付けて考えたりして, 調べたことや考えたことを表現する。

(略) 日本国憲法に定められた基本的人権の尊重, 国民主権, 平和主義の原則, 天皇の地位, 国民の権利と義務などの基本的な考え方について, 関連する条文などを根拠に調べる (略)

内容の取扱い

(1) 内容の(1)については, 次のとおり取り扱うものとする。

ア アの(ア)については, 国会などの議会政治や選挙の意味, 国会と内閣と裁判所の三権相互の関連, 裁判員制度や租税の役割などについて扱うこと。その際, イの(ア)に関わって, 国民としての政治への関わり方について多角的に考えて, 自分の考えをまとめることができるよう配慮すること。

イ アの(ア)の「天皇の地位」については, 日本国憲法に定める天皇の国事に関する行為など児童に理解しやすい事項を取り上げ, 歴史に関する学習との関連も図りながら, 天皇についての理解と敬愛の念を深めるようにすること。また, 「国民としての権利及び義務」については, 参政権, 納税の義務などを取り上げること。

エ イの(ア)の「国会」について, 国民との関わりを指導する際には, 各々の国民の祝日に関心をもち, 我が国の社会や文化における意義を考えることができるよう配慮すること。

解説→ (略)「国会など議会政治や選挙の意味」については, 選挙は国民の代表者を選出する大切な仕組みであること, 国民の代表者として選出された国会議員は国民生活の安定と向上に努めなければならないこと, 国民は代表者を選出するため, 選挙権を行使する必要があることを考えるようにする。(略)「国会と内閣と裁判所の三権相互の関連」については, (略)三権がそれぞれ大切な役割を果たしていることや, 三権が相互に関連し合っていることを理解できるようにする。「裁判員制度」については, 国民が裁判に参加する裁判員制度を取り上げ, 法律に基づいて行われる裁判と国民との関わりについて関心をもつようにする。「租税の役割」については, 租税が国や県, 市によって行われている対策や事業などの費用として使われていること, それらは主に国民によって納められた税金であることなどを理解できるようにする。(略)「天皇の地位」については, 例えば, 国会の召集, 栄典の授与, 外国の大使等の接受などの国事行為や, 国会開会式への出席, 全国

植樹祭・国民体育大会への出席や被災地への訪問・励ましといった各地への訪問などを通して、象徴としての天皇と国民との関係を取り上げ、天皇が日本国の象徴であり日本国民統合の象徴であることを理解できるようにする。(略)「国民としての権利及び義務」についての指導に当たっては、日本国憲法に定められた国民としての権利及び義務について、国民生活の安定と向上を図るために政治が大切な働きをしているという観点から、具体的な事例を取り上げるようにすることが大切である。(略)

→ 日本の民主政治や日本国憲法を学ぶ上で、新聞を活用しない手はない。政治や憲法に関する記事が新聞に掲載されない日はない。一般に、政治に関する学習はリアリティーがなくタイムリーでないため、自分事としてとらえることが難しいといわれているが、新聞記事は「今」を伝える情報であるので、政治を自分事として学習するために、さまざまな記事が活用できる。また、天皇制を学ぶ上でも新聞が役立つ。天皇の国事行為や公務に関する報道、皇室典範をめぐる報道など、天皇制を考える材料を容易に見つけることができる。

(1) 我が国の政治の働きについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(イ) 国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(イ) 政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、国や地方公共団体の政治の取組を捉え、国民生活における政治の働きを考え、表現すること。

解説→ (略) 国や地方公共団体の政治の働きについて理解する (略)。国や地方公共団体の政治の取組について、例えば、どのような内容の政策か、どのような過程を経て実施されたか、どのような法令に基づいているか、予算はどのように決められるかなどの問いを設けて調べたり、それらの取組と国民生活を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現する (略)。国民の願い、国や地方公共団体の政策の内容、その計画から実施までの期間や過程などについて調べる (略)。国や地方公共団体の政治の取組を実施するための基になる法令や予算について調べる (略)。このようにして調べたことを手掛かりに、国や地方公共団体の政治の取組を捉えることができるようにする。(略)

内容の取扱い

(1) 内容の(1)については、次のとおり取り扱うものとする。

ウ アの(イ)の「国や地方公共団体の政治」については、社会保障、自然災害からの復旧や復興、地域の開発や活性化などの取組の中から選択して取り上げること。

解説→(略)「国や地方公共団体の政治」の取組について、具体的に調べられるように児童の関心や地域の実態に応じて、「社会保障、自然災害からの復旧や復興、地域の開発や活性化などの取組」の中から選択して取り上げる。社会保障の取組を取り上げる場合には、例えば、高齢者や障害者の生活支援や介護、医療の充実、子育て支援などに関わる具体的な事業を選択して取り上げ、(略)計画的に実行していることなどを(略)自然災害からの復旧や復興の取組を取り上げる場合には、災害が発生したときに(略)救援活動を行ったり災害復旧のために物流拠点を配置したり、(略)様々な施策を実行したりしていることなどを(略)、地域の開発や活性化の取組を取り上げる場合には、地域経済の活性化や地域における雇用機会の創出を、市役所、県庁が主体的に進めている(略)ことなどを具体的に調べるようにすることが考えられる。これらの取組を調べることを通して、国民生活における政治の働きを考えるようにすることが大切である。(略)

→ 社会保障、自然災害からの復旧や復興、地域の開発や活性化などの取り組みも新聞にはよく取り上げられる。社会保障の取り組みとして例示されている高齢者や障害者の生活支援や介護、医療の充実、子育て支援などは、日々の報道にとどまらず、連載や特集記事としても取り上げられるテーマだ。自然災害からの復旧、復興、地域開発や活性化に向けた施策などについても、新聞には最新の動向が掲載されている。今日的な課題を児童に考えさせる上で、教科書を補うタイムリーな記事を活用しない手はない。

(2) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。その際、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。

(ア)～(シ) (略)

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

解説→(略)

内容の取扱い

(2) 内容の(2)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア アの(ア)から(サ)までについては、児童の興味・関心を重視し、取り上げる人物や文化遺産の重点の置き方に工夫を加えるなど、精選して具体的に理解できるようにすること。その際、アの(サ)の指導に当たっては、児童の発達の段階を考慮すること。

イ～カ (略)

キ イの(ア)については、歴史学習全体を通して、我が国は長い歴史をもち伝統や文化を育んできたこと、我が国の歴史は政治の中心地や世の中の様子などによって幾つかの時期に分けられることに気付くようにするとともに、現在の自分たちの生活と過去の出来事との関わりを考えたり、過去の出来事を基に現在及び将来の発展を考えたりするなど、歴史を学ぶ意味を考えるようにすること。

解説→ (略) 児童の興味・関心を踏まえて、取り上げる人物や文化遺産を精選する必要がある。また、小学校の歴史学習においては、歴史上の主な出来事や年号などを覚えることだけでなく、我が国の歴史に対する興味・関心をもち、歴史を学ぶ楽しさを味わわせるとともに、歴史を学ぶことの大切さに気付くようにする必要がある。(略) 取り上げる歴史上の事象と人物の働きや代表的な文化遺産を関連させ、我が国の伝統や文化が長い歴史を経て築かれてきたものであること、そうした遠い祖先の生活や、人々の工夫や努力が今日の自分たちの生活と深く関わっていることに気付くことができるようにすることが大切である。(略) さらに、自然災害からの復興、少子高齢化の問題、環境問題、日本人拉致問題、領土問題など、国内外に残されている課題等にも触れ、これからの国際社会における我が国の在り方について考えるようにすることも大切である。(略)

→ 小学校の歴史に関する学習は、ともすれば本来の目標とは異なる通史を教えることになりがちである。新聞に掲載される歴史的な発見や文化財に関する記事を活用することで、児童の興味・関心を喚起したり、歴史が自分たちの生活と深く関わっていることに気付かせたりすることができ、本来の目標に迫ることができる。国内外に残されている課題として例示されている問題も、新聞に頻出する話題だ。これからの国際社会における日本を考えさせる際に活用したい。特に複数紙を読み比べることによって、「深い学び」にもつながる。

(3) グローバル化する世界と日本の役割について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 我が国と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活は、多様であることを理解するとともに、スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や

習慣を尊重し合うことが大切であることを理解すること。

(イ) 我が国は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解すること。

(ウ) 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いを捉え、国際交流の果たす役割を考え、表現すること。

(イ) 地球規模で発生している課題の解決に向けた連携・協力などに着目して、国際連合の働きや我が国の国際協力の様子を捉え、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現すること。

解説→ (略) 外国の文化や習慣を背景とした人々の生活の様子には違いがあること、その違いがその国の文化や習慣を特徴付けていることなどを基に、世界の人々の生活は多様であることについて理解する(略)。オリンピック・パラリンピックをはじめとした国際的なスポーツ交流、様々な文化を通じた国際交流が行われていることなどを基に、異なる文化や習慣を尊重し合うことの大切さについて理解する(略)。日本の文化や習慣との違いについて、例えば、その国の人々の生活や文化にはどのような特色があるか、その国の人々の生活にはどのような習慣が見られるかなどの問いを設けて調べたり、互いの国の文化や習慣を理解し合うための国際交流の役割を考えたりして、調べたことや考えたことを表現する(略)。世界の国々の文化や習慣は多様であることとスポーツや文化などを通して他国と交流することを関連付けて、異なる文化を相互に理解するために果たしている国際交流の役割を考え、レポートなどにまとめたり、根拠や理由を明確にして議論したりする(略)

内容の取扱い

(3) 内容の(3)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア アについては、我が国の国旗と国歌の意義を理解し、これを尊重する態度を養うとともに、諸外国の国旗と国歌も同様に尊重する態度を養うよう配慮すること。

イ アの(ア)については、我が国とつながりが深い国から数か国を取り上げること。その際、児童が1か国を選択して調べるよう配慮すること。

ウ アの(ア)については、我が国や諸外国の伝統や文化を尊重しようとする態度を養うよう配慮すること。

エ イについては、世界の人々と共に生きていくために大切なことや、今後、我が国が国際社会において果たすべき役割などを多角的に考えたり選択・判断したりできるよう配慮すること。

オ イの(イ)については網羅的、抽象的な扱いを避けるため、「国際連合の働き」については、ユニセフやユネスコの身近な活動を取り上げること。また、「我が国の国際協力の様子」については、教育、医療、農業などの分野で世界に貢献している事例の中から選択して取り上げること。

解説→(略)「我が国の国際協力の様子」については、教育、医学、農業など様々な分野で技術者を海外に派遣したり、国内に海外からの研修生を受け入れたりしている事例を取り上げることが考えられる。それらを具体的に調べることを通して、国際社会における我が国の役割を具体的に考えるようにする。こうした学習を通して、過去の戦争や原爆による人類最初の災禍などの経験を生かし、国際社会の平和と発展のために、我が国や日本人が今後果たさなければならない責任と義務があることに気付くようにするとともに、世界平和の大切さと我が国が世界において重要な役割を果たしていることを考えることができるようにすることが大切である。(略)

→ オリンピック・パラリンピックをはじめとした国際的なスポーツ交流に関する記事も新聞には多数掲載されている。2020年の東京五輪・パラ五輪関連の記事は、異文化を尊重することの大切さ、多様性を理解する上で、格好の材料となる。国際面などに特派員らが書くコラムを、外国の文化や習慣を多面的・多角的に考えさせるための導入として活用することもできる。ユニセフやユネスコなど国際機関の取り組みに関する記事から、日本の国際的な役割などを考えさせることもできる。国際社会を考えさせる上では、特派員経験のある記者による出前授業を新聞社に依頼することも効果的である。

以 上